

## 日本教育学会第76回大会のご案内（第1報）

日本教育学会第76回大会は、2017年8月25日（金）、26日（土）、27日（日）の3日間にわたって、東京都町田市の桜美林大学で開催することになりました。

本学は1921年に中国の北京朝陽門外に清水安三・郁子夫妻が創設した崇貞学園に端を発し、戦後1946年5月に町田の地に桜美林学園として再出発した歴史を持っています。短期大学の創設は1950年、大学の創設は1966年ですが、教育学会大会の開催は初めてとなります。

日本教育学会に限らず、これだけの大きな学会大会の開催も初めてですが、門や塀のない、オープンでコンパクトなキャンパスで、研究発表・議論・交流が活発におこなわれるよう、準備をさせていただきたいと思います。

発表の形式は従前通りで、特に大きな変更はありません。「自由研究発表」「ラウンドテーブル」「シンポジウム」「課題研究」を中心にプログラムを組み、2日目の午後に総会、夕方に懇親会を設定します。「自由研究発表」は、第68回大会以来採用されている「一般研究発表」と「テーマ型研究発表」に区分し、2日目と3日目の午前中に並行して時間をとります。「ラウンドテーブル」は1日目の夕方です。「シンポジウム」と「課題研究」は2本ずつ、2日目との3日目の午後に開催します。

開催校がシンポジウムを2本企画することになっていますが、今大会でのシンポジウムのうち一つは、国際シンポジウムを開催することにしました。“American Educational Landscape and Emerging Resistance”というタイトルで、アメリカから二人のゲストを招き、スタンダードとアカウンタビリティがアメリカの公教育をどのように変えてきたか、その中で、学力テスト拒否（Opt-out）運動や、チャータースクールの増加に歯止めをかける運動など、親や教師の運動がどのように展開しているのか、現状と課題を共有できたらと思います。もう一つは、上記の国際シンポジウムをふまえて、教育研究における国際化、国際交流や国際比較の意義を議論するシンポジウムを考えています。外国の教育を研究することや国際比較の意味や意義を、教育社会学、教育行政学、教育法学等のさまざまなディシプリンから問題提起をいただく予定です。

具体的な場所、日程等の現段階での予定は以下の通りです。2月にはホームページを立ち上げ、逐次決定したことを掲出していきますのでご参照ください（学会のホームページにリンクします）。

### 1. 開催日

2017年8月25日（金）、26日（土）、27日（日）

### 2. 会場

桜美林大学（明々館、太平館、崇貞館、荊冠堂ほか）

交通アクセス JR 横浜線「淵野辺駅」下車 神奈中バス・学バス10分、徒歩20分

JR 横浜線・小田急線「町田駅」下車 神奈中バス20分

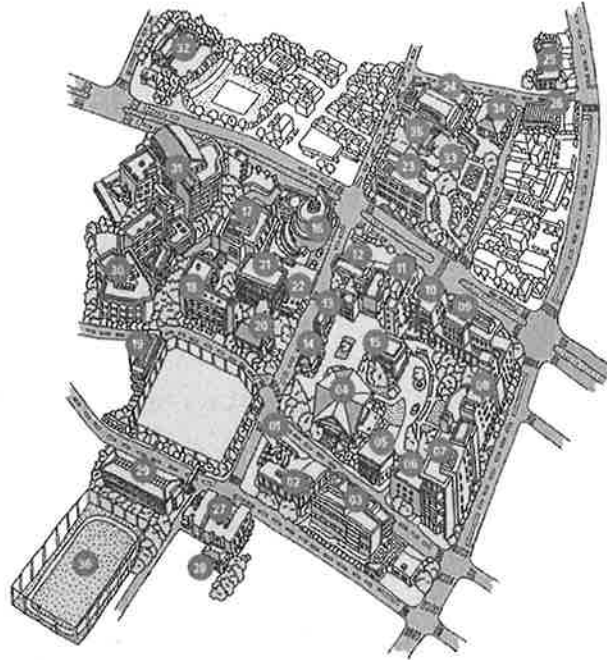
京王多摩線「多摩センター駅」下車 タクシー 15分

\*夏季休業中のため、「多摩センター駅」からの学バス運行はありませんが、「淵野辺駅」から学会特別ダイヤによる学バス運行をいたします。

\*「淵野辺駅」は JR 東海「新横浜駅」から約30分です。

詳細は桜美林大学のホームページ（<http://admissions.obirin.ac.jp/access/>）をご参照下さい。

宿泊は、「町田」、「淵野辺」、「橋本」、「八王子」、「多摩センター」各駅近辺のホテルを各自ご手配くださいますようお願いいたします。



- ⑦明々館（受付、自由研究発表・ラウンドテーブル・シンポジウム・課題研究会場、会員控室）
- ⑧太平館（自由研究発表・ラウンドテーブル・シンポジウム・課題研究会場）
- ⑨崇貞館（理事会・懇親会場）      ⑩荊冠堂（総会会場）

### 3. 日 程

25日 (金)	14:30		16:30 17:00		19:00	
			理事会		ラウンドテーブル	
26日 (土)	9:30	12:00	13:30	14:45	15:00	18:00 18:30 20:30
	自由研究発表	昼食	総会	シンポジウム・課題研究		懇親会
27日 (日)	9:30	12:00	13:30	16:30		
	自由研究発表	昼食	シンポジウム・課題研究			

### 4. 実行委員会（○：委員長）

武村秀雄、館昭、○中村雅子、我妻鉄也、鳥井康照、高橋賢一、長澤直臣、爾寛明

### 5. 連絡先

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 崇貞館 B316 中村雅子  
メールアドレス：masakosn@obirin.ac.jp